

# 箱根山の噴火を想定した避難計画（基本構想）

平成27年8月  
箱根火山防災協議会

## 基本方針

- 住民、観光客等の命を守ることを最優先とする。
- 外国人観光客を考慮し、多言語による情報伝達等に配慮する。
- 箱根町を中心に、各種施設管理者、自治会等が連携して対処する。
- 各種施設管理者、自治会等は本計画を踏まえ、避難マニュアルを策定する。

## 噴火警戒レベルごとの警戒範囲

### 【噴火警戒レベル2】

- ・警戒範囲  
想定火口域（半径440m～530m）の楕円エリア
- ・設定の根拠  
H21.3気象庁発行資料で示した想定火口域による。

### 【噴火警戒レベル3】

- ・警戒範囲  
想定火口域から700m（半径1140m～1230m）の楕円エリア
- ・設定の根拠  
H16箱根火山マップ作成委託報告書より、初速度110m/s（小規模噴火）で噴石を飛ばした予測結果による。

### 【噴火警戒レベル4】

### 【噴火警戒レベル5（水蒸気噴火）】

- ・警戒範囲  
想定火口域の中心から半径2.1kmの正円エリア（注）
- ・設定の根拠  
想定火口域の中心から端までの距離（半径530m）と、箱根町火山防災マップで噴石が飛散るとしている距離（1,500m）の和。  
 $530m + 1,500m = 2,030m \rightarrow$  切り上げて2,100m

注：マグマ噴火の場合は、半径4km圏の避難を想定し、詳細については今後検討を行います。

### 一次避難

【屋内待避】  
自ら命を守る行動をとる

### 二次避難

【避難対象地域からの離脱】  
車両で二次避難場所に避難をする

### 三次避難

【町内・外避難所への移動】  
住民：バスで避難所へ移動  
観光客：バスで最寄交通機関へ移動

